

うと市議会だより



編集 / 議会だより編集委員会
発行 / 宇土市議会 平成30年11月1日発行
宇土市浦田町51番地
TEL 0964-22-1111 FAX 0964-22-6313
<http://www.city.uto.kumamoto.jp>



宇土市子ども議会開催!

8月8日、「宇土市市制施行60周年記念宇土市子ども議会」が開催され、市内各小・中学校の代表である11名の子ども議員が市政に対する一般質問を行いました。

CONTENTS

- P 2 平成30年第3回定例会
- P 5~10 一般質問
- P11~13 委員会報告
- P14 議案・陳情等の議決結果
- P15 子ども議会
- P16 議案賛否一覧表
- P16 編集後記

平成30年 第3回定例会

第3回定例会を8月28日から9月12日まで、16日間の会期で開催しました。

市長提出議案として、宇土市営単独住宅条例など条例関係2件、平成30年度宇土市一般会計予算など予算関係8件、決算関係2件、宇土市教育長の任命についてなど人事案件3件、専決処分の報告及び承認2件、その他1件が上程され、いずれも原案のとおり決定しました。

議案の主な内容は下記のとおりです。なお、議決結果は14ページに、各委員会での審査内容は、11～13ページに記載しています。

専決処分

◆平成30年度宇土市一般会計補正予算

(第5号)

歳入歳出それぞれ2,197万4千円増額し、総額を174億7,581万5千円とする。主なものは、直築排水機場整備事業費、幼稚園空調設備整備事業費の増額補正

条例

◆宇土市文書管理条例の一部改正

電磁的記録である文書の分類を明記する等のため、条例を改正するもの。

【主な改正内容】

- ・電磁的記録である文書の分類を大分類及び中分類の2階層とする。
- ・電磁的記録に沿わない規定(文書の保管、文書の移替え、文書の引継ぎ等)において、文書の定義から電磁的記録を除くものとする。
- ・電子化事業に伴い、紙文書を電磁的記録とした際の当該紙文書について、保存期間満了前であっても廃棄することができる規定を新たに設ける。

【施行日】

- ・公布の日

◆宇土市営単独住宅条例

公営住宅法に基づかない市営住宅を設け、管理するため、条例を制定するもの。

【主な制定内容】

- ・住宅の名称及び位置
- ・入居者の公募の方法
- ・入居者の資格
- ・入居者の選考
- ・家賃の決定
- ・家賃の減免又は徴収猶予
- ・入居者の費用負担義務
- ・高額所得者に対する住宅の明渡請求
- ・不正行為等による住宅の明渡請求
- ・駐車場の使用料
- ・罰則

【その他】

民法改正による公営住宅法の改正に伴う関係条例の改正を行う。

- ・宇土市営住宅条例及び宇土市営単独住宅条例の住宅の明渡請求に係る規定のうち、法定利率の部分を変更する。
- ・「年5分の割合」↓「法定利率」変動制による法定利率(3年ごとに変更)

【施行日】

- ・規則で定める日。ただし、法定利率の改正に係る部分は、平成32年4月1日とする。また、入居者の公募その他市営単独住宅を供用するために必要な準備行為は、施行前においても行うことができる。

予算

◆平成30年度宇土市一般会計補正予算

(第6号)

歳入歳出それぞれ2億2,204万5千円増額し、総額を176億9,786万円とする。主なものは、国保会計繰出金経費、宅地耐震化推進事業(震災対策分)(拡充事業)、学校一般経費(ICT関連経費)の増額補正。

◆平成30年度宇土市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ7,163万6千円増額し、総額を48億2,819万9千円とする。人事異動に伴う人件費の減額補正及び事業費確定に伴う過年度返還金等の増額補正。

◆平成30年度宇土市介護保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ8,783万5千円増額し、総額を36億1,205万4千円とする。人事異動に伴う人件費の減額補正及び総務管理一般経費の増額補正。

人事

◆宇土市教育長の任命(任期3年)

太田 耕幸 氏(再任)

◆宇土市教育委員会の委員の任命(任期4年)

芥川 学 氏(新任)

◆宇土市監査委員の選任(任期4年)

尾沢 安治郎 氏(再任)



・知事の許可の日

施行日

議員のうちから各市町村議会で1人を選挙

主な内容

広域連合議会の議員の定数及び選挙の方法
 に関して規約の変更を行うため、構成市町村
 で同文議決を行うもの。

**熊本県後期高齢者
 医療広域連合規約の
 一部変更**

◆平成30年度宇土市一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出それぞれ2億2,204万5千円を増額し、総額を176億9,786万円とする。

費目(歳出概要)	予算額(千円)	歳出の主なもの()内は補正額【単位：千円】
議会費	1,770	議会費(1,770)
総務費	20,488	地域おこし協力隊事業(移住定住事業)(1,000), 社会保障・税番号制度経費(5,309), 交通安全対策事業経費(1,200), 交通安全施設整備事業経費(4,500)
民生費	75,193	国保会計繰入金経費(71,600), 子ども・子育て支援事業計画策定評価事業経費(2,351), 母子生活支援施設措置経費(2,426)
衛生費	▲2,864	清掃総務費 一般経費(5,971)
農林水産業費	12,780	有害鳥獣対策経費(1,000), 震災対策事業(農林水産課分)(1,849)
商工費	3,487	雁回山遊歩道整備事業(2,050)
土木費	56,090	震災対策事業(土木課分)(3,000), 単独道路適正管理事業(10,275), 公営住宅維持管理経費(2,790), 宅地耐震化推進事業(震災対策分)(拡充事業)(16,105)
消防費	3,059	常備消防費(111), 非常備消防費(2,620), 防災対策費(328)
教育費	52,018	学校一般経費(ICT関連経費)(17,894), トレーニングセンター管理経費(6,206), 震災対策事業(中央公民館分)(7,566), 震災対策事業(文化課分)(10,126)
災害復旧費	24	消耗品費(24)



議会は誰でも見れるの？

現在、市議会の会議は仮設庁舎2階の会議室で行っており、誰でも見ることが出来ます。本会議の傍聴席の定員は50人です。

また、宇土市のホームページでは、本会議の録画映像を配信しております。これは広く皆さんに市議会を見ていただけるように始めたものです。市役所まで傍聴に来ることができないという方でも、ご覧になることができます。

市議会では市民の皆さんの生活に密着した問題が審議されています。身近な市政を知るために、是非一度、会議をご覧になってみませんか？



平成30年第3回宇土市議会定例会 一般質問一覧表

【一般質問】

発言順	氏名	質問事項（大項目）	掲載ページ
1	芥川 幸子	(1)教育環境問題について (2)子育て支援について (3)公営住宅への入居について (4)安全運転に対する意識向上について	5
2	中口 俊宏	(1)宇土地区の活性化対策について (2)ふるさと宇土応援寄附金について (3)安全・安心なまちづくりについて	6
3	野口 修一	(1)森里川海の保全 (2)熊本地震・水害のボランティア活動 (3)地域おこし協力隊 (4)自治体の運営と体質	7
4	樫崎 政治	(1)みんなが元気、健康で安らぎのあるまちづくりについて	8
5	今中真之助	(1)担い手育成と活気あるまちづくり (2)今後の医療費について	9
6	福田 慧一	(1)災害対策について (2)子ども医療費の無料化について (3)国民健康保険税の負担軽減について (4)熱中症対策について (5)介護保険について	10



撤去予定の目隠しブロック塀

児童・生徒へ安全安心の教育環境の充実を

教育環境問題について



(公明党)

芥川 幸子 議員

問 学校施設や通学路において危険となるブロック塀等の現状と今後の対策について。

答 学校施設内にあるブロック塀等の緊急点検の結果、敷地境界にあるブロック塀においては既存不適格となる塀はなかったが、化粧ブロックの一部が破損している学校が1校、その他既存不適格となっているボールの壁打ち工作物のある学校が2校、目隠しブロック塀のある学校が2校あった。対策として、既存不適格のブロック塀の撤去及び補修を、今後2年間で行う予定。

問 学校のICT環境整備の推進について。

答 平成30年度は、鶴城・住吉中に無線LANを整備し、中学校3校分のタブレット120台を購入予定。31年度は、小学校の無線LANを再整備し、中学校と同程度

のタブレットを購入。また、授業支援ソフトのシステムを構築し、32年度から運用できるよう整備を行う予定。

問 近年、運動部活動における指導者のパワハラ等が起こっているが、本市ではどのような方針で行っているのか。

答 教育委員会では、生徒の自主性を尊重しながら、勝利至上主義に偏ることなく、個人差やニーズに応じた活動を工夫するなど、多くの生徒に活動の機会が与えられるような教育的配慮のもとで指導が行われるように指針を定めているので、この指針に則り、取組を進めていきたい。

子育て支援について

問 不育症の周知や患者支援の推進について。

答 適切な対応ができるよう相談窓口の充実と周知啓発に力を注ぐことは必要である。また、

支援助成については、実態を調査したうえで対応を検討したいと考えている。(健康福祉部長)

問 乳幼児健診における小児がんの一つである網膜芽細胞腫の早期発見について。

答 保護者の気づきの機会として、問診票への記載を検討していく。(健康福祉部長)

公営団地への入居について

問 公営団地への入居に関しての連帯保証人の取り扱いについて。

答 民法改正に伴う公営住宅への入居に際しての連帯保証人の取り扱いについては、平成32年4月の法施行に合わせて適切に対応していきたいと考えている。(建設部長)

安全運転に対する意識向上について

問 市公用車のドライブレコーダー設置について。

答 現在のところ、設置していない。今後は、情報公開・個人情報保護等審査会における意見を参考に、ドライブレコーダー設置に関する運用方針を策定し、マイクロバスを含む公用車13台に導入を予定している。(総務部長)



宇土駅東口

宇土地区の活性化対策

宇土地区の活性化対策 について



(無所属)

中口 俊宏 議員

問 本市は、県の中央部に位置し、JR宇土駅があり、また国道3号、57号が走り、交通の利便性に優れており、企業誘致について条件が揃っていると思うが、企業誘致の現状について質問する。

答 宇土地区における企業誘致は、宇土駅東側への誘致を積極的に行ってきた。その結果、平成25年11月に大型複合商業施設「クロス21」がオープン、平成29年10月には大型ホームセンター「カインズ」が出店した。また、今年1月に宇土駅東側にある土地開発公社所有地の一部をJR九州関連企業に売却した。同社は、鉄道の電気工事等を行っている企業で、今後の新たな雇用創出と地域活性化に期待している。(企画部長)

交通規制の進捗状況 について

る企業からの問い合わせが多くなっており、企業誘致アドバイザの雇用を再開し、情報収集等を行い、企業誘致と土地利用等の検討につなげたいと考えている。(市長)

問 元松市長3期目の公約に、県道14号ウキウキロード沿線エリアの土地利用の検討、広域連合消防本部の建替え跡地の活用等があるが、土地の有効活用を含めた宇土地区の活性化対策について市長の考えをお尋ねする。

答 県道14号周辺は、交通の利便性が高く、宇土市全体の活性化をけん引する重要なエリアである。同所周辺エリアを中心に将来的な発展を見据えつつ、民間開発を誘導するための土地利用について研究を始めたところである。広域連合消防本部は、築42年が経過し老朽化が進行し、新たな消防庁舎の建替えが必要であり、本市で建設候補地の取得準備を行っている。移転建替えとなった場合、県道14号に面する跡地をどのように活用するか市全体の将来的な発展を見据えながら検討する。また、最近宇土地区に進出を検討されてい

問 一つが築籠踏切から国道57号ウエダ理容店前交差点の時間帯の右折禁止、2つ目が松原交差点の右折時の矢印の標示、3つ目が南段原町セブンイレブン前交差点右折時の矢印標示の進捗状況について質問する。

答 一つ目の築籠町ウエダ理容店前の時間帯の右折禁止は、平成27年から宇城署に要望を行っている。今年5月に警察等との現地立合いを行っており、今後要望を続ける。2つ目の松原交差点の本町通りからの右折矢印信号は独立した右折レーンがないため設置は難しい状況。3つ目の南段原交差点も独立したレーンがないため設置は難しい状況である。(市民環境部長)



日田市・被災地ボランティア活動

人口減少地域の活性化、被災地支援活動

放置林の現状と 集約事業について



(政風会)
野口 修一 議員

問 国の山林管理や保全の事業で、緑川森林組合が取り組む活動について、また宇土市で行われる計画の報告を。

答 平成31年度より森林所有者への経営管理意向調査及び経営管理権集積計画の作成を予定している。この取組を行うことで、森林資源の循環と森林機能の保持並びに林業の成長産業化が図られると考えられる。また先行した取組として、宇土市森林集約化協議会により、団地面積520haの規模で集約化に向けた取組を現在行っている。

(経済部長)

6・20豪雨後のボランティア 等のニーズ調査について

問 ボランティア活動の拠点だった社会福祉協議会等で、被災者支援のニーズ調査はどんな

こと(方法と内容)をしたのか。

答 被災者の要望や、嘱託員などから寄せられた情報をもとに、市社会福祉協議会で現地を巡回し、ニーズに合致したボランティア派遣のマッチングを行った。また、現地の状況が把握しやすいように、平成28年7月2日から「網津サテライト」を開設した。

(健康福祉部長)

要望 全国から来られるボランティアとボランティアセンターの役割を検証する必要があること。再度、2年前のニーズ調査の状況を再検証いただきたい。

地域おこし協力隊の 来年採用と退職について

問 来春退職される2人の方の方向性や活動計画等々についてと、来春採用を予定している地域おこし協力隊の採用内容等、公表できる範囲で良いので説明と報告を。

答 来春退職する2名の隊員については、2名とも宇土市内での起業を計画されており、1名は網田地区で空き家を活用した民泊事業、もう1名は移動販売事業を考えておられる。来春採用を予定している地域おこし協力隊の採用内容は、全庁において関係各課と協議した結果、1つ目が移住・定住の促進及び西部地区の魅力発信、2つ目が広報特派員、3つ目が先般の6月議会で野口議員から提案があった市内小中学校のICT支援員である。

(企画部長)

自治体の運営と官民の 住み分け等について

問 元松市長が以前にかかれた「市役所改革」の本があるが、これから目指す市役所のあり方について、市長の見解をお訊きたい。

答 多様化する住民ニーズへの対応や制度改正により、専門的知識を有した職員が求められる。職員研修を充実させ、専門職の採用なども検討する必要がある。元気で市民に愛される宇土市を創りあげるのが、市役所の務めであると考えている。

(市長)



市民交流大運動会わくわくスポーツDayの様子

健康寿命を延ばすため、生活習慣病の予防を

第3次健康うと21ヘルスプランについて



(宇土、みらい)

檜崎 政治 議員

問 平成27年度に策定され、平成28年度から平成32年度の5年間を計画期間とする第3次健康うと21ヘルスプランの中間における計画の検証とこれからの取組について。

答 第3次健康うと21ヘルスプランは、重点目標を「生活習慣病の重症化予防」「メタボリックシンドロームの減少」とし施策の展開を進めている。大きな取組に特定健診・特定保健指導があり、数値目標を特定健診受診率60%、特定保健指導の指導率45%としている。平成27年度は、受診率34.7%、指導率31.2%、平成28年度は、受診率33.2%、指導率32.6%である。数値目標にはまだまだ届かない状況である。「特定健診を受け、その結果をもとに食事と運動を取り入れ

る。取り入れた事でどれだけ改善したかを次年度の特定健診で確認する。」というサイクルが継続できるよう、健診や保健指導に工夫を加えながら実施しているところである。また、今年度から、宇土市の健康課題のひとつである糖尿病に対して、医師会の先生方に協力をいただき、糖尿病性腎症重症化予防事業に取り組んでおり、保健師・管理栄養士による個別の家庭訪問での保健指導等に力をいれ取り組んでいく。(健康福祉部長)

問 菊陽町で健康づくりのひとつとして、取り組んでいる「きくよう健康倶楽部」はどのようなものか。

答 きくよう健康倶楽部は、今年から菊陽町が委託により行っている事業である。内容としては、ウォーキングや健康プログラム参加等の健康的な活動によりポイントが貯まり、そのポイ

ントを商品券に交換できるシステムである。会員登録した方は歩数計機能のある「活動量計」を携帯することで、ポイントが貯まり、専用の血圧計や体組成計で測定したデータをタニタの健康応援ネットサイト「からだカルテ」で健康状態の変化を確認することができるといった内容である。(健康福祉部長)

問 きくよう健康倶楽部は健康寿命を延ばすため、取り組まれている事業だが、今後、宇土市での導入について。

答 きくよう健康倶楽部の委託事業者は、会員の加入・退会等の管理業務・PRや各年齢層に応じたプログラム教室の開催や教室の中での指導等を行っており、年間の運動指導委託・運営業務委託には、かなりの委託料が継続的に必要となる。今後、宇土市での事業の導入に関しては、今後の状況や費用対効果等の検証を行い検討していく。(健康福祉部長)



熊本県立宇土高等学校

宇土高校100周年への支援について(甲子園プロジェクト)

担い手育成と活気ある
まちづくりプロジェクト



(政風会)

今中真之助 議員

問 県立ではあるが市内唯一の高校「宇土高校」は、宇土市の担い手育成のためにも大切な学校であり、魅力ある学校として存続させることも極めて重要なことである。二年後に創立百周年を迎える予定だが、宇土市として支援は考えていないのか。

答 宇土高校の発展は非常に大事なことであると考えている。具体的な案は未だないが、出来る限りバックアップしていきたい。(市長)

問 夏の甲子園が終わったばかりだが、出場する高校が存在する自治体は異様な盛り上がりを見せる。高校野球が生み出すものはもはやスポーツを超えていると再確認した。高校と地域の一体感や活性化を生むために行政が後押しし、最近甲子園初出

場を果たした高校も出てきた。本市で同様な事が出来ないか。

答 同窓生の一人として宇土高校野球部の甲子園出場に期待はしているが、市民の方は数々のスポーツで活躍されており、野球に限った支援ではなく幅広い分野での支援が必要だと考える。また、宇土高校は最近グローバルリーダー育成やスーパーサイエンスハイスクールとしての指定を受け、科学に力を入れている。行政が後押しすると言うよりは、まずは高校が本気で取り組むことが大事だ。(市長)

今後の医療費について

問 全国的に医療費は増加傾向で、年間4%程度ずつ増加し、健康保険料だけで賄われるべき医療費の四割が税金で占められている。本市における医療費の過去の推移と今後の見通しはい

かがか。

答 本市においても5年間で一人当たりの医療費が六万三千元程度上がっている。今後も被保険者の高齢化や医療技術の高度化等により増加していくものと思われる。(市民環境部長)

問 これまで行われてきた医療費を削減させるためや健康寿命を延ばすための施策内容は。

答 宇土市国民健康保険被保険者の四十から七四歳までの方を対象に、特定健診・特定保健指導、及び重症化予防事業等を実施している。今年度から糖尿病性腎症重症化予防事業にも取り組み、個別保健指導等に力をいれている。また、住み慣れた地域社会の中で引き続き自立した生活が送れるように「介護予防・自立支援サービス」を行っている。具体的には、地区公民館等で開催する「お元気クラブ」、「いきいき体操教室」等で、病気の予防や体調の変化に周囲が早目に気づくことができるといった効果が期待される。今後も市民の健康づくりを充実させ、医療費の抑制に努めたい。

(健康福祉部長)



危険表示、傾くブロック塀とフェンス

通学路、生活道路など民間の危険なブロック塀等の撤去、新設に財政支援を

危険箇所調査、その結果の公表を



(日本共産党)

福田 慧一 議員

子ども医療費の無料化を

問 土砂災害、河川氾濫、通学路や生活道路などの危険箇所を調査し、その結果を住民に公表し、情報を共有し早めの避難に活かすべきだ。危険なブロック塀などの撤去、新設費用に補助制度を作るべきだ。

答 危険箇所の調査・点検は、毎年、関係機関等と連携し、安全確保に努めている。また、今年度作成する総合防災マップ等を活用し地域防災に関する知識の向上、防災の情報提供に努めたい。なお、ブロック塀等の撤去、新設費用の補助制度の創設は、要件や限度額等について、近隣自治体との足並みを揃えながら、今年度中の創設に向けた準備をしている。(建設部長)

問 県内の子ども医療費の無料化は36自治体。一部負担があるのは宇土市含めて9自治体。小中学校の健康診断で治療が必要とされる児童・生徒の多くが治療をしていない。治療促進をはかるためにも一部負担を無くし、無料化すべきだ。

答 子ども医療費の助成については国・県に対して全国一律となるような支援を要望するとともに、どのような支援ができるのか財政状況を勘案しながら慎重に検討する余地がある。(市長)

熱中症対策について

問 猛烈な暑さが続き、熱中症の疑いで緊急搬送される人が増えている。地域で暮らしておられる高齢者の実態をつかみ、エアコンの無い世帯への対策や、一人暮らしの高齢者や高齢世帯

に対し、周りからの見守りが必要である。低所得者には冷房代などの補助をすべきだ。

答 民生委員や包括支援センターが定期的に高齢者の実態把握を行っており、熱中症のリスクがある方には、冷房の使用を勧める、応急処置の方法を指導するなどの対策を講じている。低所得者への冷房器具購入助成については、助成対象者の要件をどうするか、さらに公平性の観点から、慎重な判断が必要であると考える。(健康福祉部長)

介護保険の利用料金負担軽減を

問 年金から介護保険料や後期高齢者医療保険料を天引きされ、その残りで生活し、介護サービスを利用できない人もおられる。利用料金の負担軽減が必要だ。

答 利用料金の個人負担分の助成は、市の一般会計からの支出は困難であり、介護保険特別会計からの市町村特別給付という形で、介護保険料を財源とすることになる。そのため、軽減策を実施するならば、被保険者が支払う介護保険料を値上げせざるを得ない状態となり、慎重に検討する必要がある。(健康福祉部長)

総務市民

総務部・企画部・市民環境部・その他を所管



平江光輝委員長

《議案関連》

議案第57号 宇土市文書管理条例の一部を改正する条例

問 改正条例案の内容は具体的にどんなものか。

答 今までの条例が、紙の文書しか対応していなかったため、電磁的記録の公文書についても、条例で対応するため、改正を行うものである。

議案第60号 平成30年度宇土市一般会計補正予算(第6号)

問 地域おこし協力隊の起業というのは、具体的にどんなことをするのか。

答 今年度、退職される地域おこし協力隊員2名のうち1名の方が地域おこし協力隊起業・事業承継支援補助金を使って起業を予定されている。具体的には、網田地区において空き家を活用した民泊事業を予定されており、現在、物件等の調査にあたりられている。また、もう1名の方

についても、市内において車を活用した移動販売事業の起業を検討されている。

問 カーブミラーとガードレールの設置について、市民から要望が出ているもので、実施できていないものはどのくらいあるのか。

答 地区から要望が上がっている箇所、来年度以降の実施となるものは、ガードレールで花園地区の約350メートル、網津地区の約80メートルである。昨年度、要望が出ていた分に関しては、今年度の当初予算で実施をし、今年度、要望が出た分に関しては、今回の補正予算で実施する予定である。また、今回の補正予算に間に合わなかったものについても、できるだけ年度内に進めていけるよう、財政課と協議を行っている。

《議案以外》

網田防災センターの建設

問 今年、網津支所を併設した網津防災センターが完成している。将来的に、網田にも網津と同じような防災センターを建設する考えはあるのか。

答 網田支所を併設した防災センターということ、網津防災センターと同規模程度の機能を持たせた施設を計画している。現在、建設する候補地を探している段階である。

経済建設

経済部・建設部・農業委員会を所管



嶋本主人委員長

《議案関連》

議案第58号 宇土市営単独住宅条例

問 県から譲与される予定の応急仮設住宅に、今現在、入居されている方は、そのまま入居していてもいいのか。

答 仮設住宅の供用が丸2年を経過する方は、目的外使用として、あと1年間、入居期間の延長で仮設住宅の状態のまま住み続けることは可能である。現在のところ、応急仮設住宅が市営住宅となっても、そのまま居住し続けたいという方はおられないが、もし、居住を希望された場合でも、現況では、一旦は退去し、再入居をお願いしなければならない。しかし、そのままの場所に居住し続けたいという方々の配慮は考えていかなければならないと思う。

議案第54号 平成29年度宇土市公共下水道事業会計決算の認定

問 利益が8千万円程度出ているが、一般会計からの繰り入れはどのくらいか。

答 2億円程度をいただいている。

問 1億2千万円程度は市からの持ち出しということになるが、これらを改善する取組は何か行っているのか。

答 滞納整理を強化し、払っていたべくようにしている。

《議案以外》

農業委員等勉強会の開催

問 国から水田の活用に対する補助事業などが出ているようだが、農業委員や最適化推進委員には、国・県の政策等について、説明はおこなっているか。

答 各補助金のメリット・デメリットを含め、必要に応じて説明を行っている。

問 国や県の補助事業を活用するため、農業委員会の中でも勉強会などを行った方が良いのではないか。

答 農業委員会総会の中でも勉強会の開催について、意見が出ているので進めていきたいと思う。

文教厚生

健康福祉部・教育委員会を所管



野口修一委員長

《議案関連》

議案第60号 平成30年度宇土市一般会計補正予算(第6号)

問 今回、宇土幼稚園の空調設備設計業務委託料として約160万円が計上されているが、事業費の総額としてはどれくらいになるのか。

答 設置されていない教室等への新規設置と既存エアコンの更新計画であり、事業費としては約1,500万円を見込んでいます。

(委員から要望) 今年のような猛暑にも対応できるよう、しっかりと整備をお願いする。

問 タブレット端末の購入経費が計上されているが、ICT教育に対しての先生方の取組姿勢はどうか。

答 ICT教育については、得意な先生も苦手な先生もおられると思う。機器を購入するだけではなく、その活用をサポートしていく体制づくり

《議案以外》

子どもの虐待

問 子どもの虐待について、市ではどれくらいの特徴を把握しているのか。

答 昨年度は15世帯の対象児童に対して、23回のケース会議を行っている。ケース会議以外で見守っているケースもあるので、実際の件数は、もっと多くのケースに対応している。問 どういった内容のケースが多いのか。

答 身体的虐待も数件あるが、最近保護者の養育力不足によるネグレクトが多い傾向にある。子どもへの対応の仕方が分からなかったりする場合、それに対する支援が入ることなどで解決するケースもあるが、なかなか家庭に支援が入るのが難しいケースもある。

地域高規格道路促進等対策特別委員会



今中真之助委員長

《執行部からの説明》

熊本・宇土道路

用地進捗率、事業進捗率、事業内容のいずれに関しても、宇土市側、熊本市側共に前回の報告時から進捗はなし。現在、既に取得されている用地の管理委託及び、(仮称)緑川大橋の建設にともなう関係漁協と協議を進めている。

宇土道路

用地進捗率、事業進捗率は、前回の報告から進捗なし。事業内容について、調査設計では、「宇土道路路外水文調査業務」、「宇土道路構造物外詳細設計業務」、「宇土道路施工計画検討業務」の3件が実施されている。この調査及び設計は、既存井戸の水位測定、水量測定、水質検査等や、城塚インター整備に伴う水路ボックス等の詳細設計、また、今後の工事車両の進入路計画や事業計画工程の検討をおこなうものである。

次に、地質調査では、「国道57号宇土道路網津・長浜トンネル(垣内地区外)地質調査業務」、同じく「国

道57号宇土道路網津・長浜トンネル(笠瓜地区外)地質調査業務」の2件が実施されている。この業務は2件とも地質を調査し、トンネル築造にともなう構造計算の基礎資料として使用されるためのものである。

次に、工事では、「熊本57号宇土道路改築工事」の1件が契約手続き中である。この工事は、城塚インターと網田インターを国道につなぐための国道かさ上げ工事となっている。その他「熊本57号上網田地区改良2期工事」、「熊本57号城塚地区改良4期工事」、「5期工事」については、第2四半期入札予定となっている。

最後に、用地については、「平成30年度国道57号宇土道路補償説明等業務」の1件が実施されている。この業務は、地権者に対して補償等の説明をおこなうものである。

今後引き続き用地買収および改良工事の促進が行われる。

《主な質疑》

問 熊本・宇土道路において補償の関係で滞っていた橋梁建設は、関係漁業は同意していると伺っている。正確には、どうなっているのか。

答 国土交通省に確認し、次の委員会で説明させていただきたい。

《委員から要望》

11月の国会への要望は、形式的なものではなく、具体的な交渉を行ってほしい。

答 市議会議員の改選に伴い委員会のメンバーも変わるため、次の委員会メンバーで対応する。

新庁舎建設に関する特別委員会



柴田正樹委員長

《執行部からの説明》

進捗状況

4月から6月にかけて、敷地の測量調査及び地質調査を行っている。

今後のスケジュールとしては、9月22日に開催する設計者選定アロボーザル評価委員会において、プレゼンテーション・ヒアリング審査を行い、最優秀者、次点者を選定。その後、10月初旬に設計業務委託契約の締結を行う予定となっている。

また、それに併せて、庁舎設計に伴う新たなコストラクション・マネジメントの業務委託も行う予定。

議場の多目的利用

「開かれた議会の象徴として一般にも開放すべき」という意見や、「議場は常に本会議を開ける状態しておくべき」、「議場を開放するのではなく、傍聴者を増やす取組が開かれた議会につながる」という意見など、各委員から様々な意見が出された。

図書館について

第2回定例会の文教厚生常任委員長報告において、図書館の建替えについて再検討すべきとの意見があったことから協議を

行った。

まず、執行部から、現地での建替え、新庁舎との複合化、新庁舎と同時期に同一敷地内への移転建替え、図書館の耐用年数経過後に移転建替えの4パターンについて、比較検討結果が示された。

市としては、熊本地震からの復旧復興による膨大な財政需要の増加などにより厳しい財政状況にあることから、使用可能な施設は長寿命化、維持補修を行い、既存施設の有効活用を行うとの方針であり、図書館については、耐震改修工事、長寿命化を行い、耐用年数経過後において改めて建替えについて検討する予定である。

これまでも課題とされてきた駐車場については、図書館近隣の民有地を駐車場として活用できないか調査を行っている。

《主な質疑》

問 方向性としては、現地建替えではなくて、移転建替えということでしょうか。また、移転場所は新庁舎と同一敷地も候補となるのか。

答 案としては、移転建替えが一番いいと考えている。移転場所は、面積の制約があるが同一敷地内も候補となる。

《結論》

・図書館については新庁舎との複合化は行わず、耐用年数経過後に改めて検討する。

・議場の多目的利用は行わず、議場の床については段床形式を採用するとともに、市民が傍聴に訪れやすい議場を目指す。

熊本県城南七市市議会議長会・知事との意見交換会

7月19日（木）宇土市民会館大会議室において、熊本県城南七市市議会議長会を開催しました。この会議は、県南に位置する七市議会の議長と県下14市議会議長会会長で構成され、市議会相互間において情報交換や意見交換などを行い、市や市議会の発展に寄与することを目的とし、各市議会持ち回りで会議を開催しています。

今回の会議では、小学校外国語（英語）教育の充実や八代・天草架橋建設促進について意見交換が行われ、活発な議論が交わされました。

会議終了後は、エコウィン宇土アリーナ（市民体育館）の視察を行い、職員から空調設備の概要について説明を受けましたが、屋外の猛暑に対し、アリーナ内の快適さに、一同感嘆の声を漏らしていました。



また、8月23日（木）には、熊本県庁において、蒲島知事と県下14市議会の議長との意見交換会が行われ、城南七市議会議長会で決議した「小学校外国語（英語）教育の充実について」を県南地域の要望事項として知事に伝えました。これに対し県から、「フォローアップ研修の開催やアドバイザーの派遣、ICTの活用やそれに伴う整備など、現場の声をしっかりと聴きながら、外国語教育の充実に取り組んでいきたいと思う。」との回答がありました。

平成30年 第3回宇土市議会定例会議決結果一覧

【市長提出議案】

番号	件名	付託委員会	議決の結果
第53号	平成29年度宇土市水道事業会計決算の認定について	経済建設	原案認定
第54号	平成29年度宇土市公共下水道事業会計決算の認定について	経済建設	〃
第55号	専決処分の報告及び承認を求めることについて 専決第17号 平成30年度宇土市一般会計補正予算(第4号)について	経済建設	原案承認
第56号	専決処分の報告及び承認を求めることについて 専決第18号 平成30年度宇土市一般会計補正予算(第5号)について	総務市民 経済建設 文教厚生	〃
第57号	宇土市文書管理条例の一部を改正する条例について	総務市民	原案可決
第58号	宇土市営単独住宅条例について	経済建設	〃
第59号	熊本県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について	総務市民	〃
第60号	平成30年度宇土市一般会計補正予算(第6号)について	総務市民 経済建設 文教厚生	〃
第61号	平成30年度宇土市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	総務市民 文教厚生	〃
第62号	平成30年度宇土市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)について	経済建設	〃
第63号	平成30年度宇土市介護保険特別会計補正予算(第1号)について	文教厚生	〃
第64号	平成30年度宇土市漁業集落排水施設整備事業特別会計補正予算(第1号)について	経済建設	〃
第65号	平成30年度宇土市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	総務市民	〃
第66号	平成30年度宇土市水道事業会計補正予算(第1号)について	経済建設	〃
第67号	平成30年度宇土市公共下水道事業会計補正予算(第1号)について	経済建設	〃
第68号	宇土市教育長の任命について		原案同意
第69号	宇土市教育委員会の委員の任命について		〃
第70号	宇土市監査委員の選任について		〃

【報告】

番号	件名
第12号	平成29年度宇土市財政の健全化判断比率について
第13号	平成29年度宇土市簡易水道事業資金不足比率について
第14号	平成29年度宇土市漁業集落排水施設整備事業資金不足比率について
第15号	平成29年度宇土市水道事業資金不足比率について
第16号	平成29年度宇土市公共下水道事業資金不足比率について
第17号	専決処分の報告について 専決第16号 損害賠償額の決定について
第18号	専決処分の報告について 専決第19号 損害賠償額の決定について
第19号	専決処分の報告について 専決第20号 損害賠償額の決定について

【請願・陳情】

	受理番号	件名	付託委員会	議決結果
陳情	平成30年 1	「生涯現役社会」を実現するシルバー人材センターの決意と支援の要望	文教厚生	採択

宇土市子ども議会が開催されました。

8月8日（水）に宇土市教育委員会主催で「宇土市子ども議会」が開催されました。

これは、子どもたちに行政や議会の仕組みを学んでもらおうと毎年行われているものです。また、子どもたちにとって、地域の問題・課題に目を向け、自らの考えを主体的に発表する体験の場となっており、市にとっても、子どもたちからの意見、提案や要望などを聞くことができる貴重な場となっています。

今年も市内の各小・中学校から選出された11名の子ども議員が、身近な問題から地域の諸問題、将来のまちづくりについて、子どもの自由な発想や視点で捉えた質問や意見を発表し、市長をはじめ市執行部が丁寧に答弁をしていました。緊張の中でも堂々と質問をする子どもたちの表情は、活き活きとしていて自信に満ち溢れていました。

子ども議員の一般質問は次のとおりです。

質問順	質問事項	【学校名】議員名	答弁者
1	宇土駅周辺の発展について	【宇土小学校】塚崎 純花	市長
2	宇土清掃センターの今後について	【花園小学校】下山 小晴	市民環境部長
3	学校周辺の施設について	【走潟小学校】渕上 夢芽	教育部長
4	観光客誘致と市の活性化について	【緑川小学校】岩本 華音	市長
5	網津校区・緑川校区の小学校統合計画について	【網津小学校】小崎 俊輔	教育長
6	観光の振興について	【網田小学校】満崎 香穂	経済部長
7	障がいのある方への支援について	【宇土東小学校】渡邊 礼菜	健康福祉部長
8	安心して過ごせる宇土市づくりについて	【鶴城中学校】橋口 叶	市長
9	国道での事故防止について	【住吉中学校】今村 文音	市民環境部長
10	1人暮らしの高齢者問題に関連する網田地区の福祉・医療問題について	【網田中学校】満崎 蒼斗	健康福祉部長
11	文化的な政策について	【宇土中学校】園田 和希	市長



議案賛否一覧表

議案等	議員名	議決結果	表決数 賛成-反対	政風会			宇土、みらい			うと・しせい会			無所属						
				今中真之助	西田和徳	野口修一	田尻正三	嶋本圭人	櫻崎政治	村田宣雄	園田茂	宮原雄一	柴田正樹	平江光輝	中口俊宏	藤井慶峰	芥川幸子	杉本信一	浜口多美雄
第3回定例会 第59号	熊本県後期高齢者医療 広域連合規約の 一部変更について	可決	16-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

※○=賛成又は採択, ●=反対又は不採択, 欠=欠席, 退=退席, 除=除席

※山村保夫議員は議長職のため, 可否同数の場合のみ裁決する。

上記以外の17議案等は, 原案のとおり全会一致で決定されました。

●●●● 議会を傍聴しませんか ●●●●

市議会では市民の皆さんの生活に密着した問題が審議されています。身近な市政を知るために、是非一度傍聴してみませんか。

- ◆本会議の傍聴席の定員は50人です。ただし、会場の広さにより制限される場合があります。
- ◆委員会傍聴については、会場の広さ・内容等により人員を制限する場合がありますので御了承ください。
- ◆原則として、本会議、委員会は午前10時開会ですが、議事の都合で変更する場合があります。
- ◆本会議傍聴の際は、注意事項をお守りください。



市議会からのお知らせ

市議会のホームページで、本会議(定例会・臨時会)の会議録を公開しています。

[アドレス] <http://www.city.uto.kumamoto.jp/>

本会議の会議録(冊子)は、市情報公開コーナー(仮設庁舎1階ロビー)、市立図書館で閲覧できます。

なお、平成30年第3回定例会の会議録は、平成30年第4回定例会以降に閲覧可能です。

[お問い合わせ]

市議会事務局 0964-22-1111 内線234

平成30年 第4回 定例会 会期日程

第4回定例会の日程は、市議会ホームページを御覧になるか、議会事務局までお問い合わせください。(11月上旬に決定予定)

広報うと12月号にも掲載予定です。



編集後記

秋も深まり、日が短くなってまいりましたが、今年の夏は、全国各地で気温が上昇し、真夏日が多い日が続きました。今年の10月は、宇土市議会議員選挙の改選の年でした。過去の投票率をみてもみると、平成18年は76%、平成22年は72%、平成26年は64%と低下傾向が続いています。市議会の役割は、市民の方々の声を市政に反映させることです。投票することは、今後の宇土市の将来につながります。よりよいまちづくり、宇土市づくりに一緒に参加しましょう。

編集委員 委員長/福田慧一 副委員長/野口修一 委員/平江光輝 委員/嶋本圭人



環境保護印刷の
水なし印刷で
印刷しています。

印刷/数島印刷株式会社